



報道関係者各位

2014年9月25日
青森県立保健大学

学生によるオレンジリボン運動(児童虐待防止運動のシンボル)について

I. 目的・意義

オレンジリボン(児童虐待防止シンボル)の普及を学生主体で行う。

オレンジリボンは、栃木県内で起きた児童虐待事件を契機に市民ボランティアによる児童虐待防止活動が開始され、そのシンボルとして考案された。乳がん早期発見キャンペーンのピンクリボン運動等にならってリボンによる啓発活動を行うことにしたが、オレンジの由来はさくらネットワーク(里子の会)の発案による。「子供たちの太陽のような明るい未来」を祈願してこの色となった。

もともと民間ボランティア主体の運動であったが、厚生労働省が運動に賛同し、啓発活動を一翼も担うようになった。その一環として、厚生労働省が管轄する社会福祉士・精神保健福祉士・保育士養成課程を持つ大学・短大に学生主体で啓発活動を行うことを呼びかけている。社会福祉研究演習3年生がその趣旨に賛同し、今回取り組むこととなった。

国等は費用負担は行わないが、啓発用ポスター、オレンジリボンの現物(約100人分)およびオレンジリボン作成マニュアルを配布し、活動支援を行う。

II. 今回の活動期間・内容

9月下旬~11月上旬に活動準備を行い、11月11日~11月24日の間に実践を行う。

学内では、大学内でのポスター掲示と大学図書館に協力を仰ぎ児童虐待・児童問題に関するブックフェアを行う。

学外では、青森市内でポスター展示とオレンジリボン配布を行う。以上を予定している。

III. 効果等

学生自身の発案による自主的な取り組みで有り、大学の社会貢献の一部であるとともに、学生自身が市民として社会に貢献することができる活動である。こうした活動に参加することで、青森の社会福祉に幾ばくかの貢献が行え、児童福祉では、児童虐待やいじめ防止について市民の関心を高めることが期待できる。

期間：平成 26 年 11 月 11 日~11 月 24 日

参加自由

場所：青森県立保健大学および青森市内

問い合わせ*****

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2091 FAX:017-765-2091

担当：社会福祉学科 増山 道康
